

2021年度関西地域NGO助成プログラム報告会

『ネパール地震被災地の子どもたちと女性たちのための復興コミュニティづくり』

女性自立支援事業

SAHAYOGIプロジェクト報告



2023年1月14日

NGOネパール虹の家 代表理事 福谷真知子

ネパールの子どもたちの明るい未来のために 2022年～2025年重点プロジェクト女性自立支援事業

「SAHAYOGI」
サハヨギ
プロジェクト



虹の家がめざす Goal 目的

ネパール
被災地
貧困地域の
女性たちの
自立を支援
する



ネパールSAHAYOGIの事業が収益を上げ、**安定した経営**ができるビジネスへと成長するために**事業協力**を行う。

そのためには、日本での販売実績を上げ**収益をあげる事業を展開する**。

そのことが、ネパールの女性たち「**職と収入を得て自立する**」という**願いを実現する**ことにつながる。



SAHAYOGIがめざす Goal

SAHAYOGI
の女性たち
の願い



○仕事と収入を得て子どもたちに十分な教育を受けさせる。

○ミシン技術を身に付けて職と収入を得る。

○SAHAYOGIをソーシャルビジネスとして起業する。

- 1) 2022年「SAHAYOGI」が目指したゴール
- 2) ネパールコロナ禍「SAHAYOGI」の1年間
- 3) 事業評価と課題
- 4) ～2025年 現地女性の “自立”と着地点

1) 2022年「SAHAYOGI」が目指したゴール（目標）

- ① 現地事業➡
 - 1) 組織運営の強化
 - 2) 新商品開発
 - 3) ミシン技術の向上
 - 4) 収益を（賃金）につなぐ
- ② 国内事業➡
 - 5) ネパール布コラボ商品開発
 - 6) 販路拡大（マーケティング お客さま）

評価：目標をほぼ達成

達成できなかった

1) 2) 3) 5)

4) 6)

2020年 2021年 2022年 コロナ禍の3年間 ジョルパティのトレーニング場を支え仲間を支えた女性たち



コアメンバー左：スントリさん（施設管理）リタさん（代表・洋裁技術リーダー）スガさん（ニット・ダカ織リーダー）



4月 ジョルパティ トレーニング場立ち退き問題

5月 移転先決定 ボウーダ 新トレーニング場 工事開始

7月 ほぼ工事完了
新トレーニング センター 兼 ショップ 完成



事業評価から見える

今後の課題と目標設定

< 1 > ネパール現地事業

< 2 > 日本国内活動

<ネパール現地事業>

- 1) 組織運営強化 2) 新商品開発（現地販売） 3) ミシン技術の向上

ほぼ達成



Sewa Society
合同ミーティング



関西NGO協議会さま と 真如苑さまから
寄贈していただいた高級ミシン



注文販売 タマンドレス

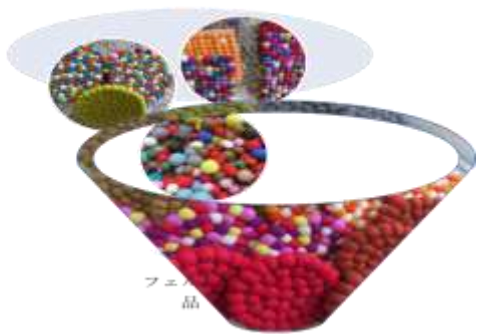


12月 洋裁研修
畑中トキ子さんからロックミシンの使い方を習う
リタさん。ミシンの糸調節やメンテナンス
についても指導が必要と、畑中トキ子さん

春 Spring

おしゃれキッチン フェス

開催中 27日(金) 28日(土) 29日(日)



ナマステ

私たちが作ったフェルトボールです



ダカ織にもチャレンジしています



ネパール布のヘアスカーフづくりも



Sahayogi Mahila Samuha

ワークショップ形式の販売もしております

ネパール布・フェルトボール・コラボ商品をつかって

キッチングッズをコーディネート

楽しいキッチンライフをイメージしませんか



特別
企画

カラフルなフェルトやダカ織布 ひとあじちがう ダイニングになるかも
ネパールから 5月23日に届いたばかりのダカ織布もお求めいただけます



NGO ネパール虹の家



達成できなかった

6) 販路拡大 マーケティング

解決の方向

- 販売地域の拡大
- 販売対象を決める



ネガティブ 販売
ポジティブ 販売

お客さまを待って
いる販売

お客さまに働きかける販売

- ①聴く (迎えるチカラ)
- ②知らせる (広報のチカラ)
- ③薦める (ネパールらしさ)



草の根の国際市民交流活動

～ つながって ネパール ～

- 市民によるボランティア活動
- 神戸市「Sewa School」の子どもたち
- 在住のネパール人留学生たち
- 私たちにできること「明石つむぐ会」のみなさん



手編みベスト100枚を
ネパールの子どもたちへ

社会とつながる活動

ネパール女性たちはネパールカウターパート
International Sewa Societyメンバーとして
被災校への訪問 学校訪問と給食支援を継続

NGOネパール虹の家
在住ネパール人の子どもたちとの交流



11月 第3回 「ネパール祭り」

被災地支援活動 の着地点

ネパール女性たちの願い
を少しでもかなえる

「職と収入」

すべての子どもたちに

「豊かな
教育の機会」を

